



<1年生平和学習>

7月10日の土曜授業では、1時間目にDVD『火の海 大阪』を鑑賞し、自分たちの住んでいる場所で実際に起きた戦争について考える平和学習を行いました。

以下、みなさんの感想です。(一部抜粋)

【1組】

☆戦争をすることによって被害を受けた人々は悲しむし、心に傷が残ってしまう。それは一生忘れられないやな思い出になってしまふ。加害した側は何も心に残らないと思うけど被害側は一生忘れられなくなってしまう。

☆なんで戦争は人を殺すのだろう人を殺して戦う以外にもあったんじゃないかなと思った。戦争は命と人生を奪う。そんなことをさせる戦争をもう二度としたくないと思う。いま私たちにできることは、"今"を大切にして楽しく生きること。過去は過去の出来事として頭に入れ、自分の生き方で生きる。多分その方が、天国の人たちも喜ぶと思う。動画でも悲しさが残るのに動画にいる主人公は悲しいし苦しいはずなのに、前を向いて"今"をしっかり生きていて、カッコイイと思った。

☆戦争の学習をして、こんな風に平和に笑って過ごせている毎日が当たり前じゃないんだとこれから思って暮らしたい。被害にあった人々も亡くなりたくて亡くなつた訳じゃないし、こんな簡単に尊い命が亡くなつてしまうのがとても悲しい。私たちにできることは、今を大空襲にあって死んでしまつた方々の分まで生きること。命を粗末にしたり、命を粗末にするような言葉を簡単に言うべきじゃないと思います。

☆大空襲が大阪でもあったことを初めて知って、大変だったんだと思います。もし自分が戦争のときに生れたらと考へると怖くてびっくりというか、悲しいと言うか、何とも言えないです。このまま戦争が起こらないこと願うし、戦争を起こさないように工夫していこうと思う。

☆今、私たちの住んでいるところでこのようなことがあったことに、大変驚かされた。B29が100機以上で人を殺しに来る大空襲。計8回の大空襲で死者は12983人。とてもゾッとする。第6回の大空襲では、住吉区も大空襲がやってきた。この1回の大空襲で1394人も死者が出ている。なんて、戦争に一切関係のない人が殺されないといけないのか。戦争のせいで手や足を失い、一生、不自由な生活を送った人もいる。こんなことに一生ならないために、身近なところから平和にしていきたい。遊ぶこと、友達と楽しく話すことなど、身近なところから平和にしていくことが平和への第一歩となり、今できる一番大事なことだと私は考える。



【2組】

☆戦争は、人々をきず付けるだけで、何も良い事がないから二度としてはいけない事だと思った。戦争じゃなく、小さけんかも起きないように、人を思いやる気持ちが大切だと思った。私たちが今できることは、「戦争をしてはいけない」と言う事を身近な人々に伝えることだと思う。

☆戦争は色んな人を悲しませ、苦しませる。それが80年前におこっていたと思うととてもおそろしい。それを知ることがまず自分たちにできることだと思う。

今、戦争が起きていないからいいんじゃなくて、それを自分たちが次の世代につないでいかないといけないと思う。みんながそれを知ってなくちゃいけないし、知らないと平和にはならない。一人一人が戦争を知ることで平和に1歩近づけるんじやないかと思った。

☆戦争をすると、多くの人がなくなったり大切な人を失うことがあって、多くの人が悲しい思いをすることがあるから、二度と戦争をしてほしくない。

戦争は、破滅だから、二度と戦争をしないように、全世界の人が協力し、平和な世界を作っていくたい。

☆戦争というものは、自分の大切な人たちの命をうばってしまうもの。ぼくがそんなにあってしまったら、たえられなくて、生きていられなくなつてしまふと思います。だからぼくは、戦争を二度と繰り返さないよう、少しでも戦争のことについて知り次の世代の人々に戦争のおそろしさを伝えていきたいです。

☆私たちの次の世代、その次の世代にずっと私たちが前の世代に教えてもらった戦争の怖さを伝えていたらいいと思う。そして人間が戦争という大きなまちがいをまた起こさないように努力すればよいと思う。「戦争」は経験したことないが、経験したくない事だ。

☆つみのない人たちがころされて多くの被災者も出た。もうこれでこれ以上戦争で死人をださないために自分にできることは戦争を体験した人たちが今ものすごく少ないしへっているからわかい人たちが戦争を忘れないようにすること。

【3組】

☆私は空襲で人が焼けている所や、人が亡くなってしまう所がとても印象に残りました。戦争は人々を悲しませたり、苦しませたりするので、無意味な争いなんじゃないかなと思いました。
戦争をなくすには、みんなが協力することが大切だと思います。

☆小さい子など、色々な人が空襲によって命をうばわれていた。戦争をしない大切さをみんなに伝えていくことが大事だと思った。

☆今私たちが普通に学校に来れていることがとても幸せなことだなということです。あの時代に生まれていたら、学校で勉強することもできないしお風呂にも毎日入れなかつかもしれないと考えると今の時代に生まれてきてとても幸せだと感じ、これからも他国と戦争することがない平和な時間を続けたいなと思います。

☆今、生きていらっしゃる高齢の方々はみんなこんな痛い思いをしていたのか~など、きずなどのせいで、うでを切断するなどたくさんの試練を乗り越えてきたのかと思った。でも、少し心の底では一応日本が悪さをしたからアメリカなどにくしゅうを受けるんじゃないかとも思う。でも、このような日本のかこには「火の海 大阪」みたいな悲しい出来事があったということを次の世代の私たちが伝えていこうと思う。

☆戦争とは、みんなの命をうばうから戦争はしてはいけない。今生きてることに感謝する。

【4組】

☆6才のときにも関わらずあんな思いをして右うでをなくしても一生懸命生きる主人公はすごいと思った。けど、あきこがあのあとどうなったのか知りたかった。今後、こんなことをおこさないようにするには、小さなけんかをおこさずもしおきてしまつてもそれを大きなことにしない。あと他人の気持ちをちゃんと考へる。

☆防空壕に焼夷弾が落ちて火だらけになるシーンを見て必ずしも防空壕が安全ではなかつたんだなと思った。どこにもにげ場がないで、怖い思いをした人の気持ちを考えると胸が痛くなつた。
過去を変えることはできないけど、戦争について知つて「戦争を二度としない」という強い意志を持つことで戦争を防ぐことができると思う。日本が受けた被害だけでなく、日本が外国に加害者としてしたことにも目を向けてきちんと知ることも大切だと思う。

☆さっきまで自分のそばにいた人が燃えていると思ったら、とても恐ろしくなりました。建物が燃えても立たないで、戦争を体験してきた心の傷はその人に一生残るので、日本だけでなく、世界中で戦争がなくなつてほしいと思います。

☆お母さんが最初空を見上げていたのは、焼夷弾がたくさんおちてきていた昔のころとかさねあわせていたんだと思った。
地下にある防空壕に、たくさん人が集まりすぎて入れなくなつてゐるところが、命がけで避難してきたのに入れなくなつてしまつてとても悲しかつた。その後に焼夷弾がおちてきて防空壕にいた人が焼かれてしまつたとき、安全だと思って避難してきた人たちがとてもかわいそうだと思った。いつ焼夷弾がおちてくるか分からず、びくびくしながら生きるのはとても苦しいと思った。また戦争がおきそうになつたときは、全力で反対したいと思った。

☆戦争は、多くの人の命を奪うおそろしい事です。DVDで見た主人公の女の子の妹が亡くなつた時鳥肌が立ち、自分の家族でそれを想像してたらすごい怖いです。人の命がいっぱい亡くなるのは、悲しいどころではすまない、多くの人の命を奪う戦争は、二度としてほしくないです。

ほんじつ がつ か じんじんへいわとうこう び たいへようせんそう ねん か ひろしま がつ か ながさき とうか
本日8月6日の人権平和登校日では太平洋戦争と1945年の8月6日に広島、8月9日に長崎に投下された原子弹について学習し、当時広島で被爆した植野さんのお話を動画配信にて視聴しました。
「戦争を知ろうとする努力を怠らず、なぜ今の世の中があるのかを考えてほしい」という植野さんの言葉にあるように、皆さんも平和のために自分たちにできることを考えて行きましょう。

れんじつこくしょ つづ ねっちゅうしょ き つ げんき しきょうしきとうこう
連日酷暑が続きますが、熱中症にも気を付けて元気に始業式登校してください！

～この学校の片隅で～

みんなが毎日通るピロティーに平和を願った詩があるのを知っていますか？
一度じっくり読んでみてください。

